基本定石検索システムと死活ナビ

○ 基本定石検索システム

パンダネット基本定石検索
ファイル(E) 編集(E) ヘルプ(H)

(İ)

0

約40,000手の基本定石の中から棋譜に応じた定石を検索します。



パンダネットに接続して観戦中、保存棋譜の 再現中、または自由対局室で対局中に「基本 定石検索システム」を使うことができます。 定石を検索したい部分を、マウスで右クリックし、 「この隅の定石を検索」を選びます。

手順が進んでいると、定石データベースから 見つからないケースが多くなりますので、序盤 まで手を戻してから、「この隅の定石を検索」を 選んでください。

三角のボタンをクリックすると、手順を戻す ことができます。

対局/観戦中の盤面のコピーが表示されます ので、必要な場合は、石の追加/削除を行ない、 定石を検索する盤面を作成します。

石の追加/削除は、 マウス「左」ボタン:黒石 → 白石 → なし → 黒石 → … マウス「右」ボタン:メニューから「黒石を 置く」等を選択

で行ないます。検索する盤面を作成したら、 「この盤面を検索する]ボタンをクリックします。

※ 定石データベースには、主に「隅の定石」が登録されていますので、辺や中央の石は削除してから 検索してください。

-

盤面編集モードです

eっく、ル 〔ださい。

金索し

次の手番黒番

表示手数 🕢

まず右下の表示手数スクロールバーを 使って、適当な局面まで手順を戻して

手順を戻した後、盤面の空いている所 をクリックすると黒口で立て入力され ます。既に石が置いてある所をクリッ クすると「黒→日・なし→黒→…」と 変わります。こた盤面を右クリックす ると「黒→日ー別除」のメニュー から選択して入力できます。

検索では、打たれた手順は不問と ます。盤面に置いてある黒白の石 のみ検索されます。またどの隅で しても同じ結果が得られます。

- この盤面を検索する

____,

検索する「盤面」を作成したら、「次 の手番」を指定して「この盤面を検索



検索された候補手(①23など)をクリック すると、次の候補手が表示されます。 候補手が1通りの場合は、自動的に次の 候補手まで進みます。一段落するまでの 手順が表示されると、終了となります。



O 死活ナビ

棋譜の部分的な死活をコンピュータが判定します。



パンダネットに接続し、観戦中または 保存棋譜の再現中に死活判定の対象と なる石の上で「右クリック」し、「この 位置の死活を判定」を選びます。

必要な場合は、石の追加/削除を行ない、 死活を判定する盤面を作成します。 石を置くときは、右下の「石の置き方」で 「交互/黒石/白石」のいずれかを選び、 盤面を左クリックして石を置いていき ます。

石を取り除くときは、取り除く石の上で 「右クリック」して「石を削除する」を 選びます。



判定対象を明確にするためにいくつかの 石(青い点が付いた石)が自動的に追加 され、判定領域に赤い点がつきます。 判定領域を確定させたら、[判定開始] ボタンをクリックします。さまざまな手を 検証し、活き、死に、コウなどを判定して いきます。





複数の手がある場合、それらすべてが表示 されます。ダメとして指定された部分が 右図のように表示されます。



点滅している石をクリックすると、ソフトは 「判定した手番」として応手するモードに なります。

例えば「次の手番」を「黒番」(黒先)で 判定した場合、ソフト側が黒番となり、 どのような白の手に対しても的確に応手 します(死活と無関係な離れた場所は 対象外となります)。

正解手以降の手順を確認することができ ます。

- ※ 点滅している石以外の場所をクリックすると、ソフトは「判定した手番の逆の手番」として応手する モードになります。
- ※ 正解以外の手を選ぶと、どのような手順で失敗するかを確認できます。